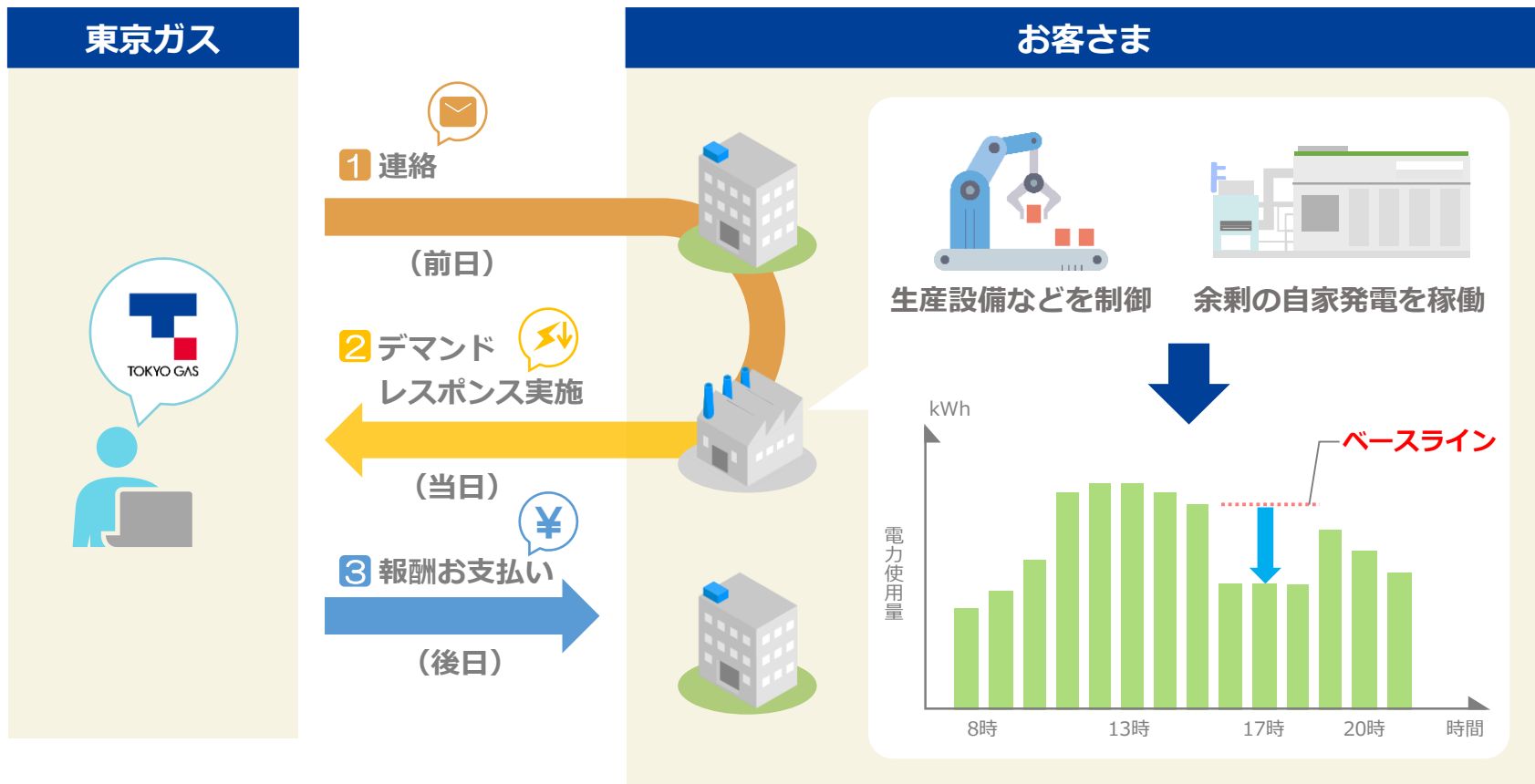


## デマンドレスポンスサービスの概要

- 電力需給がひっ迫し、電力卸市場価格が高騰した際に、東京ガスからの節電要請に応じて電力使用量を抑制いただいたお客さまは、節電達成特典を受け取ることができます。



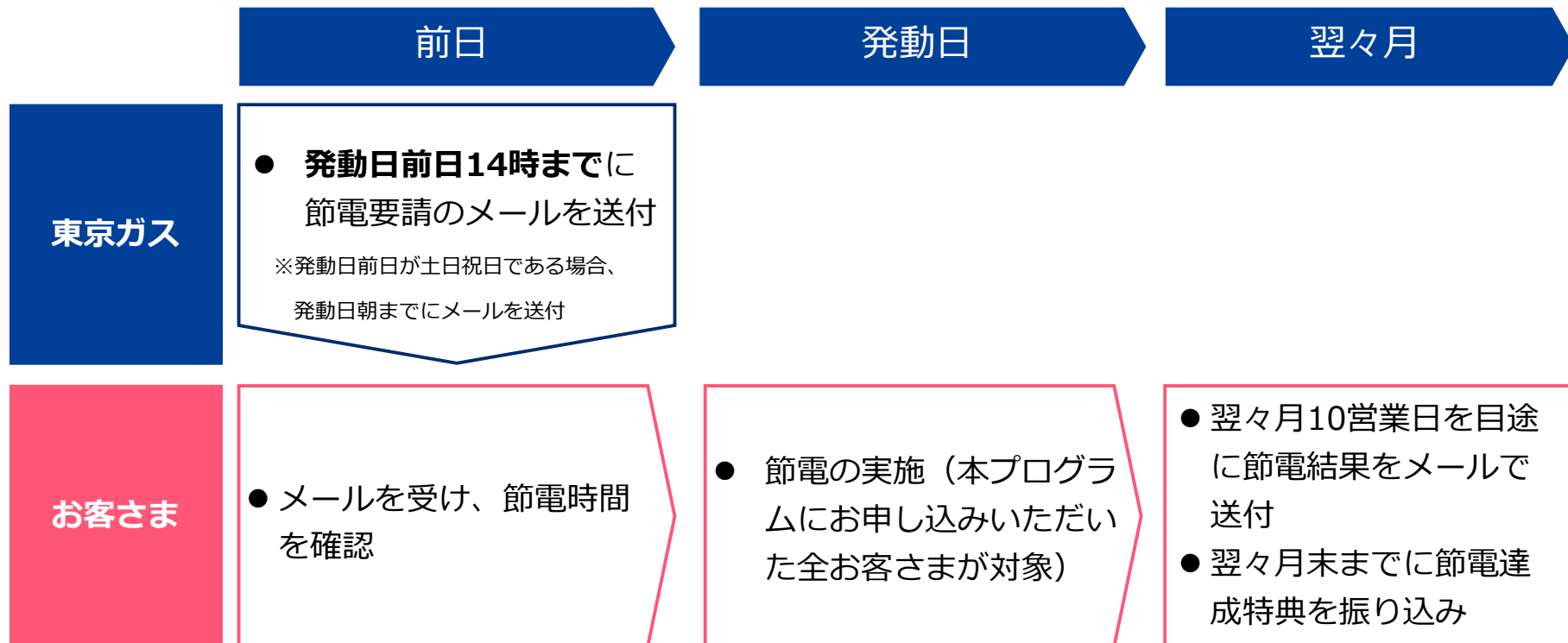
## 節電達成特典の詳細

- 節電達成特典は1kWhあたり10円～（消費税等相当額含まない）となります。
- また、需給状況によってはさらに高い節電達成特典を付与することがあります。
- なお、節電を達成できなかった場合のペナルティ（お客さまのご負担）はございません。

| 項目               | 内容   |
|------------------|--|
| 節電達成特典<br>(報酬単価) | <b>10円/kWh～</b><br>※消費税等相当額を含みません。                       |
| 対象日              | <b>平日</b><br>(土日祝日および12/29、12/30、12/31、1/2、1/3、1/4を除いた日) |
| 対象時間             | <b>6～22時</b>   |
| 要請時間             | <b>1時間～</b><br>※30分刻みで増加します。                             |
| 需要抑制量<br>の定義     | <b>ベースラインと実績の差分</b><br>※ベースラインの算定方法は参考資料を参照ください。         |
| 需要抑制量<br>の積算方法   | <b>プラスのみ</b><br>※節電できなかった場合でも、マイナスしません。                  |

## 節電要請の流れ

- 東京ガスから節電要請のご連絡を原則、発動日前日の14時までにメールさせていただきます。
- 節電時間をご確認の上、当日ご対応いただきます。節電結果は翌々月10営業日を目途にメールで送付いたします。



## 節電達成特典の計算方法

- 節電達成特典は以下の流れで計算されます。

### ①ベースラインの算出 ※詳細は参考資料を参照ください。

- 直近の使用電力量をもとに基準となるベースラインを算出します。

### ②需要抑制量の計算

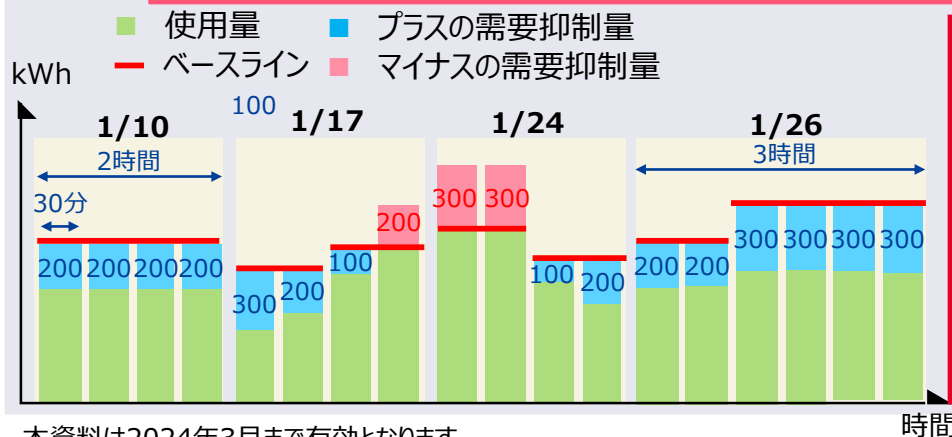
- 需要抑制量は発動日ごとにベースラインと使用電力量の差で評価されます。
- 発動日ごとの需要抑制量がマイナスになった場合、需要抑制量は0とします。

$$\text{需要抑制量 (kWh)} = \text{ベースライン (kWh)} - \text{使用電力量 (kWh)}$$

### ③節電達成特典の計算

- ②需要抑制量に報酬単価を乗じて計算されます。

$$\text{節電達成特典 (円)} = \text{需要抑制量 (kWh)} \times \text{報酬単価 (円/kWh)}$$



| 発動日    | 需要抑制量    | 報酬単価    | 節電達成特典  |
|--------|----------|---------|---------|
| 1/10   | 800kWh   | 20円/kWh | 16,000円 |
| 1/17   | 400kWh   | 10円/kWh | 4,000円  |
| 1/24   | -300kWh  | -       | 0       |
| 1/26   | 1,600kWh | 30円/kWh | 48,000円 |
| 節電達成特典 |          |         | 68,000円 |

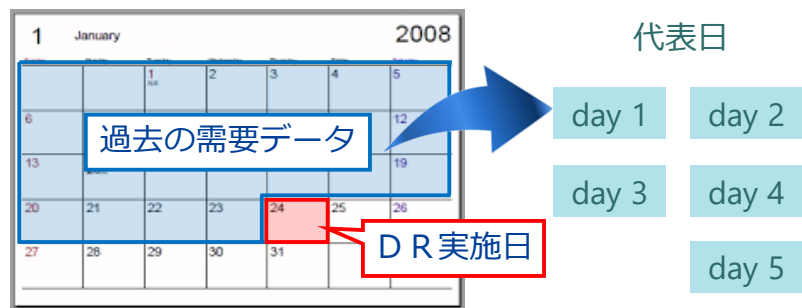
本資料は2024年3月まで有効となります。

## 参考資料 ベースラインの算出方法

ベースライン（標準ベースライン）の算出方法の概要は以下の通りです。詳細は「エネルギー・リソース・アグリゲーション・ビジネスに関するガイドライン（資源エネルギー庁策定）」における標準ベースラインを参照ください。

### ① 代表5日間の選定

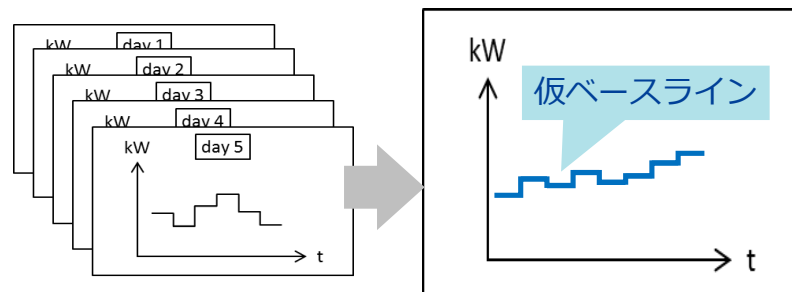
需要データの過去実績を参考とするために、過去30日間から5日間の代表日\*を選定する。



\*原則、直近5日間のうち需要の大きい4日間。ただし、土日祝や過去のDR実施日等を除く。

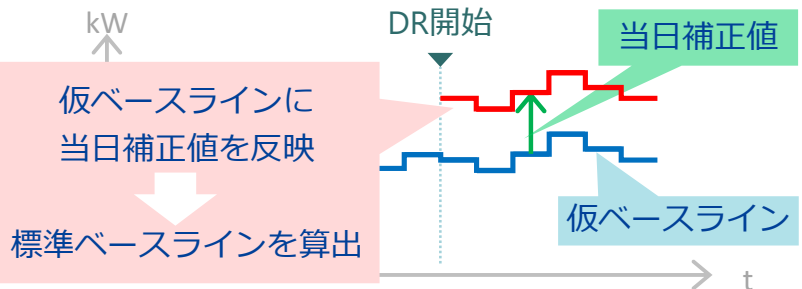
### ② 仮ベースラインの算出

代表日の需要データから、標準ベースラインの基となる、仮ベースラインを算出する。



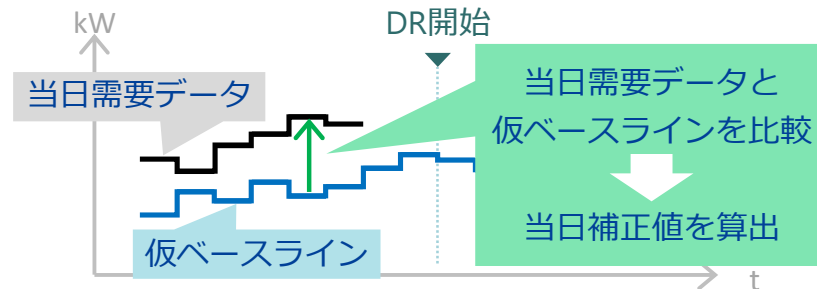
### ④ 標準ベースラインの算出

DR実施時間帯の仮ベースラインと当日補正值から、標準ベースラインを算出する。



### ③ 当日補正值の算出

当日のDR実施時間前の需要データと仮ベースラインから、当日補正值を算出する。



本資料は2024年3月まで有効となります。